

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

第三千七百四十七號
明治廿六年八月三十日 水曜日
舊曆癸巳七月十九日 (己亥)
日出午前六時五十分
月入午前七時四十分
日出午後七時四十分
月入午後七時三十分
(西曆一千八百九十三年)

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價運送料は左の如し
一號 貳圓五厘〇一ヶ月 前金五拾錢〇三ヶ月 前金壹圓四拾五錢〇六ヶ月 前金貳圓八拾五錢〇一年 前金五圓六拾錢〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

時事新報運送料

- 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山、津浦、南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加拿大を經て郵送する歐洲各國 一ヶ月 金六拾錢
- 二 北米合衆國、英領加拿大、布哇諸島 一ヶ月 金三拾錢
- 三 香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸島、濠洲 一ヶ月 金六拾五錢
- 四 露領滿洲、清國諸港 一ヶ月 金三拾五錢

時事新報廣告料(前定)

一行五號活字廿四號 一日限一月以上七日以上 一行 一付十三號十一號十號五號

本社(寄稿)の付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報章を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填寫するより各社同一の記事を掲ぐるも算からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て新聞社の通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信する方多きが如し爲めに本行通信員を生じたる場合も算からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に寄稿せらるるを請ふ

時事新報

箱庭的の趣向

王政維新の當初には舊物破壞の精神頗る盛にして有名なる城郭殿堂を用捨なく取毀ちて國內の偉觀を失ひ又は名所舊蹟の樹木を採伐して風致を損するなど全く暗黒世界の有様なりしが當時破壞の主唱者なりし田舎武士の輩も次第に都下の風に馴じりて次第に都化して武骨殺風景の故態を脱し儼然たる貴顯紳士の地位を占めて社會の上流に位置するの身となりて舊來の舉動を顧みれば一時の狂熱に乗じた小兒の戯にして其非を悔りしものか遂に心付きたるもの如く舊物保存美術獎勵など唱ふるに至りしは人事自然の數とは云ひながら社會の爲めに喜ぶ可き次第なれども本來其人々の思想は如何なるものなりやと云ふに茶屋料理屋の中より發生したる好尚に聊か西洋舶來の風致を加味したる變調野郎のものにして迷もれ座の上に居る可らざるものなるに世間一般の人は只譯もなく之に唱和するのみならず其筆法を實際に試み所謂箱庭的の思想を以て天然の風景を俗了し去らんと企てるものさへあるも因却の次第なれ今その二三の例に就て云はんは伊勢に神樂會なるものあり其目的は神宮附屬の古器古物を保存し又その境内の神樂風景を維持するものよりなる

が近來聞く所に據れば古器物を永久に保存するが爲めなりとて宏壯堅固なる煉瓦石の建物を境内に建築するの計畫ありと云ふ古物の保存固より必要なれども自から他に方法もある可し老朽鬱々深流瀾々神世のまじに神さびたる境内に煉瓦石の建物とは不釣合も亦甚だしく恰も茶の湯の席にビフスマツキの出現したるが如くにして寧ろ其神聖風景を損ふものに非ずや又同國に在りて有名なる二見ヶ浦の如きも前年何かの時に當り海岸より岩に至るまで棧橋を掛け又眺望に妨ありとて突出したる岩の一角を缺んとするの議さへありしと云ふ二見ヶ浦の景色は双岩の間に旭日の昇るを眺むるも其特色なれ棧橋を掛けて岩に登るさへ既に殺風景を免れざるに假令一角の微と云ふ一時の出来心より千歳不磨の岩を缺きて天然の風致を損するとは抑も何の心ぞや其他三井寺の境内に公園を開くの計畫ありと云ひ又日光にも同様の企ありと云ふが如き何れも天然の美を外にして箱庭的の考に出でたる殺風景の談なれども就中京都丸山に公園を設けんとする計畫の如き我輩の最も其意を得ざる所なり京都の京都たるは山川の風景に富めるなど名所舊蹟の多きとの爲めにして其山川景勝自から相湊合して京都と名くる一大公園を成すものなるに其大公園の中に更に小公園を設くるは恰も風景の切實を爲すに異ならず殺風景の甚だしきものと云はざるを得ず從來是種の事に於ける日本人の好尚は極めて高尚優美にして今日の如き野郎のものに非ず例へば家の構造の如き品に據れば細微の點に注意して數寄を極めたるものあれども大體の趣向は昔の御殿風の屋敷と今の貴顯紳士輩の邸宅とを比較して孰れが優美にして孰れが野郎なるか其相違を見て知るに難からざる可し又庭園の風致の如き今人は目前の草花竹石にのみ意を注ぎて兎角箱庭的の思想を脱せざれども昔人は然らず廣く天然の風景を利用して自家園中の物と爲し以て其規模の大なるを喜びたるもの多しと云ふ「我庵は松原遠く海近き富士の高峰を軒端にぞ見る」と云ふが如き富嶽の翠嵐白雪を以て恰も吾家の物と爲したるは單に歌人の空想のみに非ず昔より有名なる庭園別荘の如き大抵この趣向に成りたるは現に其遺跡を見て知るを得べし然るに近來は全く反對の現象を顯はし西洋の風に倣ふて公園の設置など唱ふる其公園とは如何なるものなりやと云ふは恰も天然の風景を切實し箱庭的の小細工を施して却て固有の美を害するものなり畢竟維新以來一般の好尚甚だ野郎に陥り貴顯紳士輩の邸園の如き茶屋料理屋の構造装置を雛形として自から得たる結果に外ならざる可し抑も社會の好尚は次第に變遷するものなれば今の貴顯紳士の輩も次第に其變遷に隨て自から野郎殺風景を悟るの時ある可し今日正に變遷の中途に在るものとせば其好尚の低きも致方なれども一個人の事は兎も角として日本の山川風景は外國人の來遊を促す一大勝原によろあれは我輩はまず其美を發揚し日本國を世界の樂園と

してまず其來遊を促し大に利せんとするものなるに種々の人工を施して却て天然の美を損せんとするものあるは奇怪の至りと云はざるを得ず聊か一言して世人の注意を乞ふ所以のものなり

官報

警察令第二十七號
和歌山縣ニ於て目下牛疫流行ニ付同縣ヲ發シ若クハ同地方ヲ通過スル牛ノ輸入ヲ停止ス若シ之ヲ犯シタル者ハ明治二十三年勅令第二十八號ニ依リ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス但本令ハ發布ノ當日ヨリ施行ス
明治二十六年八月二十九日 警視總監岡田安賢

雜報

○印度幣制改革の結果 新聞は七月下旬の紙上に於て論じて曰くハインセル委員會が印度通貨の問題を決するに當りて銀の自由鑄造を禁じルビーの爲替相場を一志四片と定むべき旨勸告したるに付ては其結果の廣く世界に及ぶ所を充分に研究したるや如何、印度政廳が其勸告を採用して以來日數を経るに従ふて追々世間の批評を招くに至れり蓋し報告に云ふ所は如何にも明白にして左る斷案を下げしものと強ち懸して云ふにはあらざれども世間には非を認めんと欲して改正の後却て昔日の優れるを羨むとあり同委員會或は印度政廳より傳給若くは養老金を受くるもの苦情を察するも最も深切なる一方に於て獨り印度のみならず支那より露露に至るまで世界一般の商賣に甚しき紊亂を惹起すべきものと深く考へざりしものにはあらざるか其斷案の要素となりし事實の公けにさるる頃に至れば恐くは其果して斯くの如くなりしを知るも亦あるべし今と距るる二十五年前既に印度政廳は財政の困難と未來に於ける銀貨下落の危難とを陳べて其鑄造禁止を希望せしむとあり然るに其後歳人の次第に改良したるは要するに銀貨下落の爲めと云はざるべからず今日既に大に其價格の下落したるが上に米國に於て若しチャーマン法を廢するに至れば尙は一層甚しき下落あるべきが故に印度政廳の之を憂ふるに至極尤もなりと雖も左ればとて今度の療治が其憂を其儘に存するよりも優れるや否やは未だ事實に明白ならず吾々が前日に論じたる如く印度政廳の財政は最早猶豫し難きまでに困難の域に達したりと云へ政府の外は銀貨の鑄造を許さざるもとせし今度の改革に付ては差向き左の結果を惹起したり即ち

株式市場は殆んど火の消えたる有様に陥りたる事墨西哥政府の公債及び同國鐵道株券の如き債券及び多少に限りず銀貨の影響を蒙るべき其他の發行券は總べて殆んど信じ難きまでに下落したる事合衆國及び英國に於て銀價に二割餘の下落を見たる爲め各地方の銀山は續々廢坑するも

以上三結果の内第三に付き尙ほ詳しく陳べんに抑も全世界に於ける去年の産銀額は合衆國造幣局長の報告に従ふに殆んど一億五千五百萬オンスにして其内合衆國より産出するは殆んど全額の三分一なり而して同國がチャーマン法に従ふて買入るる高は一ヶ年合計五千

四百萬オンスに過る數年間の際幣及び裝飾品幣幣制改革令のものを加ふれば

しと云ふ左

得るが爲め十片以下の間を維持したるを忍んで他日を

たればなり然

く消之失せ相

片と云ふに至

べからざる水

稿を起草する

四片餘となれ

て之に従事す

人に及びし

の銀山中にけ

とに決しテ

於ける多數は

大部分は數日

し而して墨

んど云ひ智利

り露洲の内

るべし何と

衆國のエル

ひ尙ほ一層

多數の銀山は

益するもの

あるものなり 悟なしと云ふ 除くの外け 其た少なり 長の報告に銀 下落するも尙 當するを得べ 是は金塊を得 ん三分の一 云ひたり 是によつて目 期の経過し困 給の動すべし るべし蓋し現 るか得て知る 時節は左のみ 疑はざる所 如くなれども らざるを發見 したるものあり